

町春季消防検閲

4月19日、町消防団による春季消防検閲が実施されました。町内で会場を移しながら、閲団式や分列行進が行われ、検閲式では三瓶克己団長が「自然災害が全国各地で発生している。万一に備えて関係機関と連携し、更なる予防消防の徹底を図っていく」と決意を述べました。また、検閲式終了後には長谷川大槻橋上流において放水訓練が行われ、機敏な動作でポンプを操作し、本番さながらに放水を行い、有事に備えました。



介護職員初任者研修開講式

5月8日、西会津高校で令和8年度介護職員初任者研修開講式を行いました。この研修は、本年度から西会津高校の2年次選択科目「生活と福祉」を履修している生徒と一般の人が一緒に研修を受講し、介護の資格取得を目指します。

開講式では、薄町長が「介護職の人材不足が課題である。互いに交流しながら、即戦力として力を発揮できるよう学習してほしい」とあいさつしました。受講する皆さんは来年2月まで130時間にわたり研修を行います。



西高「歩く・学ぶ・西会津」

5月1日、西会津高校で毎年恒例行事の「歩く・学ぶ・西会津」が行われました。これまではその名の通り、徒歩での移動が中心でしたが、本年はクマ対策など安全面を考慮し、バスで西会津国際芸術村を訪問しました。

当日、生徒たちはかつての学び舎が現在は国際的なアートの発信地として息づいている様子に興味深く見学していました。また、ワークショップでは捕獲されたイノシシの皮を使ったキーホルダー作りに挑戦し、鳥獣被害対策の理解を深めるとともに命の重みを学びました。



(提供：西会津高校)



▲始球式を務めた佐々木奏太さん(写真左)

福島レッドホープス公式戦

4月29日、福島レッドホープスはホーム球場である福島レッドホープス西会津球場で埼玉武蔵ヒートベアーズと対戦しました。始球式は会津西BCの佐々木奏太さん(西小6年)が務め、クラブ児童によるプレイボールの掛け声で試合が開始されました。

試合は、福島レッドホープスが埼玉武蔵ヒートベアーズを追いかける形となり、9回には松堂稔己選手の犠牲フライなどで3点を取り反撃しましたが、逆転することができず4-9で敗れました。当日は曇り空で肌寒い1日となりましたが、観客席からは生で観るプロ選手の迫りに歓声が上がリ熱気に包まれていました。

台湾の台南市旅行商業同業公会と意見交換会

4月8日、台湾の台南市旅行商業同業公会理事長らが町役場に訪れ、町と県観光物産交流協会や極上の会津プロジェクト協議会の関係者による意見交換会が行われました。

当日は、町の観光資源・特産品のPRのほか、教育旅行の誘致や観光送客などの促進について活発な意見が交わされました。薄町長は、「台湾との交流は2015年に西会津町国際芸術村を起点としてスタートした。今後も教育旅行を含めた『人・物』の交流を更に推進していきたい」とあいさつしました。



▲出席した関係者の皆さん

佐藤ハナエさん 百歳賀寿を迎えました

4月20日、佐藤ハナエさん(出ヶ原)が満100歳を迎え、4月24日に入所する施設内で町と老人クラブなどから賀寿の記念品が贈られました。

ハナエさんは畑仕事や山菜取りが好きだったそうで、長寿の秘訣は、身体を動かすこと・三食しっかり食べることと話していました。

